



株式会社立花エレテック

TACHIBANA ELETECH

製造受託サービス、MS 事業スタートのお知らせ

——— マニファクチャリング・サービスを拡大します ———

電機・電子機器卸売業の株式会社立花エレテック（東証・大証一部上場、本社・大阪市西区、渡邊武雄社長）は4月1日、「MS 事業」を新設します。MSは、マニファクチャリング・サービスの略です。金属加工と電子機器の受託製造を推進する部門で、技術商社として設計ノウハウをもち、製造するパートナーのネットワークをもつ当社ならではの事業となります。当社としては、ファクトリーオートメーションや産業機械のFAシステム事業、半導体デバイス事業、コンピューター関連の情報通信事業、エレベーターや空調の施設事業、太陽光発電などシステム提案を行うソリューション事業、海外事業に続く7つ目の事業分野となります。

【新事業の概要】

MS 事業では、金属加工受託のMMS（メタル・マニファクチャリング・サービス）と電子機器・部品の製造受託のEMS（エレクトロニクス・マニファクチャリング・サービス）を行います。

MMSは現在、海外事業の中で立体駐車場の部材や電車車両内の部材などを手がけています。日本の顧客が求める高い品質のものを製造する中国の協力工場を育て、ネットワーク化してきました。EMSは、給湯器制御、介護機器制御、双方向リモコンや乗用車のトランクを静かに閉めるトランククローザー回路などを、半導体デバイス事業のなかで手がけてきました。MMSとEMSをMS 事業としてまとめることで、1つの取引先に対し、幅の広い製造・加工の提案を行います。

MMSとEMSの2012年度の売り上げ見込みは約30億円ですが、MS 事業として独立、強化することで5年で倍増を目指します。

【新事業の取り扱い製品】

- MMS（金属加工）
立体駐車場の構造材部品、同パレット＝写真左＝など
- EMS（電子・電機部品）
給湯器制御コントローラー、エアコンなどのリモコン、乗用車トランククローザー＝写真右＝など



【子会社との協力体制】

当社グループでは、旧ルネサスエレクトロニクス販売コンポーネント統括部から事業を移管を受けた立花デバイスコンポーネント（TCD、本社・東京都千代田区、清水洋二社長）が、2月1日に業務を開始しています。MS 事業は、このTCDとの協業も前提としています。TCDは、電子部品を組み合わせるユニットやモジュールをつくるコンポーネント事業を行ってきました。とくに、充電機器や通信関連機器に強みをもっています。当社MS 事業のEMSはTCDと協力し、多様な製造受託サービスを手がけていく予定です。

本件に関するお問合せ先

〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25

EMS 推進部 小松 明彦 (TEL:06-6539-5060 komatsu@tachibana.co.jp)
広報・株式課 井上 純子 (TEL:06-6539-2718 inoueg@tachibana.co.jp)



株式会社立花エレテック